

日本学術会議地球惑星科学委員会 IUGG 分科会（第 26 期・第 3 回）議事要旨

1 日 時 令和 7 (2025) 年 11 月 17 日 (月) 13:30～15:00

2 方 法 オンライン会議 (Zoom)

3 出席者

(会員) 佐竹 健治、中村 卓司

(連携会員) 中村 尚、古屋 正人、升本 順夫、山岡 耕春、久家 慶子

(連携会員 (特任)) 尾関 俊浩、辻村 真貴

(オブザーバー) 能勢 正仁

4 議 題

(1) IUGG 及び分科会の活動報告

佐竹委員長より、資料 1-1 をもとに、2025 年 7 月 12 日に開催した学術フォーラムについて報告があった。また、資料 1-2 のとおり、2027 年 IUGG 総会が 2027 年 7 月 16～22 日に韓国 Incheon の Songdo ConvensiA で開催する旨の報告があった。

(2) 小委員会ならびに学協会の委員会の活動報告

本分科会のもとに設置されている IACS 小委員会（資料 2-1）、IAG 小委員会（資料 2-2-1, 2-2-2）、IAHS 小委員会（資料 2-4-1, 2-4-2）の開催状況や活動状況について、各担当委員から報告があった。IACS 小委員会、IAHS 小委員会からは、来期も IUGG 分科会のもとに小委員会を設置したい旨の希望が出された。一方、IAG 小委員会は測地学会の委員会として活動し、来期の小委員会の設置は不要とのことである。

他、IUGG 関連の学協会の委員会の活動状況として、IAGA (SGEPSS IAGA 対応部会) (資料 2-3)、IAMAS (日本気象学会) (資料 2-5)、IAPSO (日本海洋学会 IAPSO 委員会) (資料 2-6)、IASPEI (日本地震学会国際委員会) (資料 2-7)、IAVCEI (日本火山学会) (資料 2-8) について、各担当委員から報告がなされた。

(3) 日本学術会議の動向

佐竹委員長から、資料 3 をもとに、来期の会員（改選会員 125 名）の選出について説明がなされた。連携会員については、現在規定が全くなく、今後内規で定める予定であるが、今期中の選出は難しい旨が説明された。資料 3 に基づき、連携会員に係る現在の方針案についても紹介がされたが、連携会員の任期の継続については問題点が指摘され議論になつておらず、今後修正されるだろうとのことである。また、今回も来期開始前に IUGG 分科会を立ち上げる予定であり、今後状況をみながら、来期 IUGG 分科会委員についての対応を、特任連携会員の活用を含めて検討する必要がある。

（4）その他

佐竹委員長から、令和 8 年度代表派遣推薦および推薦のための資料 4 について説明があった。本代表派遣推薦に対して唯一の派遣希望の申し出が IASPEI からあり、派遣者の特任連携会員への申請を含めて、承認された。また、今後 IAG で検討し派遣希望がでた場合には、次点で推薦することとした。

佐竹委員長より、資料 5 に基づき、IUGG yearbook の内容確認がなされた。

5 配布資料

資料 1-1 学術フォーラム報告 (JGL2025No.4)

資料 1-2 IUGG2027

資料 2-1 IACS 小委員会

資料 2-2-1、資料 2-2-2 IAG 小委員会

資料 2-3 IAGA 報告

資料 2-4-1 IAHS 小委員会

資料 2-4-2 IAHS 報告

資料 2-5 IAMAS 関連

資料 2-6 IAPSO 報告

資料 2-7 IASPEI 報告

資料 2-8 IAVCEI 報告

資料 3 学術会議総会資料 (次期会員・連携会員関連)

資料 4 令和 8 年度代表派遣推薦依頼

資料 5 IUGGYearbook 原稿